

後援会通信「グロース」春号

GROWTH

—大学と家庭をむすぶ—

2011 Spring

vol.
18

震災のため、通常とは内容を変更して発行いたします。
また、お届けが遅れましたことを合わせてお詫び申し上げます。

このたびの「東日本大震災」で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

東北学院大学では被災された学生の皆さんへの授業料の免除措置などをしつつ、皆さんが一日でも早く正常な生活に戻れますよう準備を進めておりますが、本後援会といたしましても、大学側と連携をとりながら緊急給付奨学金などの様々な援助を行っていきたいと考えております。

また、後援会総会については、5月21日に開催を予定しておりましたが、このたびの震災の影響により6月18日(土)に延期することになりました。地区後援会につきましても、規模を縮小して開催をおこなうべく準備を進めているところであります。保護者の皆さまには、大変ご迷惑

をおかけいたしますこととお詫び申し上げます。

最後になりますが、保護者の皆さまには今後とも更なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

東北学院大学 後援会会長

丸森 伸吾

このたびの「東日本大震災」でいたましくもお亡くなりになられた方々とそのご遺族に心から哀悼の意を表します。また、被災されたみなさまに衷心よりお見舞いを申し上げます。

3月11日。この日は春休み中とはいえ、土樋キャンパスには多くの学生諸君の姿がありました。地震が起きた時、私はちょうど学内で会議に臨んでいましたが、真っ先に懸念したのは、学生諸君の安全確保でした。これには学生部の教職員が迅速に先導し、避難場所へとすみやかに誘導、退避させました。多賀城および泉キャンパスにおいても同様に冷静沈着な避難行動がなされたとの報告を受けております。幸いにも学内における人的被害はありませんでした。

土樋キャンパスにおいては公

公共交通機関の運行停止により帰宅が困難となった学生諸君のために体育館が解放されましたが、地域住民の方々も集まり始めたため、総務部が中心となって緊急避難所としての運営がなされました。とりわけ大きな津波が襲来した多賀城市においては、多賀城キャンパスに多くの住民が身を寄せられました。混乱を極める中で、対応に当たった本学教職員の献身に対し、多賀城市から多大なる謝意がありましたことをここに申し添えておきます。また、震災後間もなく、ボランティア活動に関して「災害ボランティアステーション」を立ち上げました。今も地域の方々と連携しつつ、長期的な取り組みを視野に入れた被災者支援を続けています。

本学では電子メールによる安否確認システムが構築されてい

ましたが、ライフラインが途絶えた中での確認作業は、大きな困難を伴いました。悪路の中、教職員が被災地に赴くなどの地道な努力を重ね、3月31日までに在籍学生12,217名全員の安否を確認いたしました。非常に残念なことに犠牲になられた学生さんもいます。若い輝きをなくした悲しみはあまりにも大きく、言葉ありません。

確かに私たちは「1000年に1度」といわれる災厄、人智人力を圧する自然の猛威に見舞われました。しかしうなだれてばかりはいられません。顔を上げ、明日に向かわなくてはなりません。本学には、大学としての教育研究機能を回復させ、高次に保つ使命が課せられています。教職員の不眠不休の奮闘もあり、通常の約1ヶ月遅れとなりましたが、4月27日から新入生オリエン

テーションが開始され、5月9日からは新年度の授業を開始しています。キャンパスには学生諸君の元気な姿が戻ってきました。そして経済的サポートを始め、被災学生への柔軟かつ弾力的な支援体制も動き始めています。

復興は長い道のりになることでしょう。本学では学校法人として、また科学的英知と知見を有する機関として、地域社会にどのような貢献ができるか模索し始めています。すでに自然災害に強い町づくりのために尽力し始めた研究者もおります。今、踏み出した一步は小さいかも知れませんが、歩み続ければやがて未来へと続く道になります。ともに手を携えて、新しい道を拓いてまいりましょう。

東北学院大学 学長

星宮 望

本年は、5月21日(土)に開催を予定しておりましたが、東日本大震災の影響により、6月18日(土)に後援会総会を開催することになりました。当日は、総会のほか、学科別懇談会や個別相談などの「大学開放プログラム」をご用意しております。この機会に、ご子供の学生生活の一端に触れていただければ幸いです。保護者の皆さまのご参加をお待ちしております。

- 日時** 平成23年6月18日(土)
- 総会 / 13時30分～14時30分
 - 大学開放プログラム / 14時40分～16時
- 会場** 東北学院大学泉キャンパス(総会は礼拝堂)



昨年度の総会の様子

平成23年度 東北学院大学後援会総会 開催概要

時間	内容										
13:00	<p>受付総合案内所 13:00～14:30(1号館外)</p> <p>後援会総会 13:30～14:30(礼拝堂)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.開会宣言 2.聖書朗読並びに祈祷 3.挨拶 4.議事 <ul style="list-style-type: none"> (1)平成22年度後援会庶務報告 (2)平成22年度後援会収支決算報告並びに会計監査報告 (3)平成23年度後援会事業計画(案) (4)平成23年度後援会収支予算(案) (5)その他 5.閉会宣言 										
14:00											
15:00	<p>学科別懇談会 14:40～15:40(2号館各教室)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学科の特色や教育内容 ・成績の見方、進級、卒業について ・教員との自由懇談(希望者のみ) 										
16:00	<p>個別面談コーナー 14:40～16:00(2号館各教室)</p> <table border="0"> <tr> <td>学生部</td> <td>就職部</td> </tr> <tr> <td>・奨学金</td> <td>・就職活動</td> </tr> <tr> <td>・課外活動</td> <td>・求人状況</td> </tr> <tr> <td>・アルバイト</td> <td>・教員・公務員への</td> </tr> <tr> <td>・健康管理</td> <td>試験対策と準備</td> </tr> </table>	学生部	就職部	・奨学金	・就職活動	・課外活動	・求人状況	・アルバイト	・教員・公務員への	・健康管理	試験対策と準備
学生部	就職部										
・奨学金	・就職活動										
・課外活動	・求人状況										
・アルバイト	・教員・公務員への										
・健康管理	試験対策と準備										



平成23年度 東北学院大学 | 地区後援会 | 開催について

平成23年7月～9月に開催を予定しておりました地区後援会は、規模を縮小して開催を検討しております。今後の予定につきましては、後援会ホームページでお知らせをさせていただきます。

<http://www.tgu-kouenkai.org/>

学生部より

被災された学生のみなさんへ 授業料減免支援措置

被災された[新入生]のみなさんへ

(授業料減免支援措置)

このたびの震災で被災された新入生のみなさんへの支援措置の概要が次のようにまとめました。

1. 授業料減免(申請手続きは入学後になります)

1) 主たる家計維持者が死亡または行方不明のとき

▶ 授業料1年分免除(すでに納入している前期分はお返しします)

2) 自宅が全壊または流出のとき

▶ 授業料後期分免除

3) 自宅が半壊のとき

▶ 授業料後期分を半額に減免

4) 主たる家計維持者が、福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等により、所有する自宅家屋を長期にわたって使用できない場合(4/13追記)

▶ 授業料後期分を半額に減免

※1)と2)、1)と3)、1)と4)を併せて申請することはできません。

※ただし、入学後の申請により、東北学院大学緊急給付奨学金(授業料半期分相当)が給付される(返還の必要はありません)可能性があります。

被災された[2~4年生]のみなさんへ

(授業料減免支援措置)

このたびの震災で被災された学生のみなさんへの支援措置の概要が次のようにまとめました。

1. 授業料減免(申請手続きについては追ってお知らせします)

1) 主たる家計維持者が死亡または行方不明のとき

▶ 授業料1年分免除

2) 自宅が全壊または流出のとき

▶ 授業料前期分免除

3) 自宅が半壊のとき

▶ 授業料前期分を半額に減免

4) 主たる家計維持者が、福島原子力発電所の事故に伴う避難指示または避難勧告等により、所有する自宅家屋を長期にわたって使用できない場合(4/13追記)

▶ 授業料前期分を半額に減免

※1)と2)、1)と3)、1)と4)を併せて申請することはできません。

※このほかに、申請により、東北学院大学緊急給付奨学金(授業料半期分相当)が給付される(返還の必要はありません)可能性があります。

2. 被災による休学者の授業料免除

被災により休学を余儀なくされた場合、休学期間の授業料を免除(通常は半額納入)します。

3. 前期学納金の納入期限の延長(すべての学生が対象です)

前期学納金の納入期限を8月1日(通常は5月14日)とします。

課外活動の施設利用について

下記を参照し、安全に十分注意して活動を行ってください。各施設の借用手続きが必要な場合は、それに則って手続きを行ってください。ただし、使用可能となっている施設でも、一部設備(水道・ガス・トイレ等)では使用不可能となっている部分もあることと、余震等で急遽入構・使用禁止となることもありますのでご了承ください。なお、使用不可となっている施設から、荷物を取り出すなどの短時間の入室は、各キャンパス学生係にご確認ください。

●泉キャンパス

各グラウンド・体育館：泉キャンパス体育事務室
(022-375-1191)にご確認ください。

部室棟・コミュニティセンター：泉キャンパス学生厚生係(022-375-1151)にご連絡ください。

●土樋キャンパス

体育館・部室棟・90周年記念館(ホールを除く)：

5月9日(月)以降通常の貸出をしております。

申込→土樋キャンパス学生課学生係
(022-264-6471)

●多賀城キャンパス

体育館、9号館、教室：使用不可(再開時期未定)

各グラウンド：使用可能

奨学金について

■この内容に関するお問い合わせ

土樋キャンパス：TEL.022-264-6471
FAX.022-264-6473

多賀城キャンパス：TEL.022-368-1120
FAX.022-368-7070

泉キャンパス：TEL.022-375-1151
FAX.022-375-5050

学務部より

1. 前期授業開始：5月9日(月)
前期授業終了：8月9日(火)
夏休み開始：8月10日(水)
夏休み終了：9月17日(土)
2. 前期試験は実施いたしません。
3. 後期授業開始：9月20日(火)
後期授業終了：1月28日(土)
冬休み開始：12月21日(水)
冬休み終了：1月4日(水)

後期試験：

文・経・営・法・教 2月6日(月)～2月11日(土)
工 学 部 1月30日(月)・31日(火)・
2月6日(月)～2月11日(土)

財務部より

在学生(2～4年生)の皆様へ
学生納付金の納入について

このたびの震災により、平成23年度学生納付金の納入は次のようになります。

納入期限日

前期・一括：平成23年8月1日(月)
後 期：平成23年10月15日(土)

納入期限日が金融機関営業休業日の場合には、翌金融機関営業日となります。

ただし、前期の学納金延納制度はございません。

なお、後期の納入期限日は変更ございません。

振込依頼書発送時期

2年生以上の学生：

6月中旬ごろに、資料送付を希望されている
あて先に【前期】・【後期】・【一括】の振込
依頼書を発送いたします。

新 入 生：

8月中旬までに資料送付を希望されている
あて先に発送いたします。

就職部より

このたびの東日本大震災により、新4年生の就職活動などが約1ヶ月停滞してしまいました事は、不本意ではありましたが手の施しようがありませんでした。

しかしながら、東北学院大学の就職部においては震災後、学生が大学構内に入校開始と同時期頃より、エントリーシート添削講座、面接対策講座、専門カウンセラーによる就職相談などを実施し、訪れる学生に対して就職活動のサポートを始めました。

また、求人の状況におきましても被災地となっている地元企業への就職は、今後暫くの間は、大変難しい困難な事であろうと推察いたします。

このような現状を受け入れ、3キャンパスの就職部員が一丸となり、学生の働く意欲保持に向けて、前向きに就職活動や就職支援、進路の相談に尽力いたす所存で

す。なお、今後実施します就職支援行事としては、

①3年生を中心とした就職活動ガイダンス(キャンパスによって開催回数異なります) ②職業人によるトークイベント(泉キャンパス1・2年生対象) ③面接フォローアップ対策講座(多賀城キャンパス4年生) ④全学部対象の1年生キャリアガイダンス適性検査・2年生適性検査・3年生適性検査SPI試験2回実施 ⑤全学部4年生対象の企業と学生の合同セミナー 9月実施 ⑥全学部3年生対象の企業研究セミナー翌年1月実施 ⑦エントリーシート添削講座、面接対策講座など例年通り実施いたします。その他に首都圏での就職活動に対して、4年生対象の就活応援バスツアーや平成23年3月卒業生と4年生を対象にした就職支援サポートルームを開設して、専門カウンセラーの指導を受けられる機会を提供したり、数回実施予定の学内企業セミナー、フォローアップ講座など細部にわたる支援をいたします。また、大震災を経験した学生の心のケアも大いに必要となりますので、カウンセリングセンターとも協力し内面的支援にも向き合っていかなければなりません。学生一人一人のモチベーションが下がらないように今後も応援し続けます。

後援会ホームページのご案内

東北学院大学後援会のホームページでは、後援会の最新情報をお届けするほか、後援会総会・地区後援会のご案内、後援会通信のバックナンバーなど随時更新いたします。



<http://www.tgu-kouenkai.org/>

安否確認システムのお知らせ

ぜひ、保護者の皆様からも学生の皆様へ本システムに登録するようお声掛けください。

安否確認システムとは？

地震などの災害時に、携帯電話を使って学生の安否状況が登録されると、学生の皆様登録した安否状況が保護者の皆様にメールで通知されるシステムです。

安否確認システムに事前登録

- 1 事前に学生の方がアドレスを安否確認システムに登録します。保護者からは登録できません。



災害発生時

東北学院大学による安否状況登録依頼

- 2 安否状況の登録依頼メールを配信します。



学生の皆様による安否状況登録

- 3 安否の状況を登録します。安否確認システムからメールが届きます。



保護者の皆様へのメール通知

- 4 登録した安否状況は保護者にメール通知されます。



地震や災害時に携帯電話は、通信規制がかかり、つながりにくくなります。しかし、本システムに登録した安否状況は、即座に保護者の皆様へ通知されますので、いち早く安否状況を知ることができます。本システムをご利用いただくには **保護者ではなく、事前に学生の皆様が登録する必要があります。**

※システムの事前登録及び安否登録の詳細につきましては、右記よりダウンロードしてください。

<http://www.tohoku-gakuin.ac.jp/anpi>

東北学院大学

土橋キャンパス

大学院：文学研究科、経済学研究科、経営学研究科、法学研究科
 学部：文学部・経済学部・経営学部 法学部(各3・4年)、夜間主コース
 〒980-8511 仙台市青葉区土橋1-3-1
 tel 022-264-6421 (総務課)
 fax 022-264-3030 (//)

多賀城キャンパス

大学院：工学研究科
 学部：工学部
 〒985-8537 多賀城市中央1-13-1
 tel 022-368-1116 (庶務係)
 fax 022-368-7070 (//)

泉キャンパス

大学院：人間情報学研究科
 学部：文学部・経済学部・経営学部 法学部(各1・2年)、教養学部
 〒981-3193 仙台市泉区天神沢2-1-1
 tel 022-375-1121 (庶務係)
 fax 022-375-4040 (//)

東北学院大学後援会通信 GROWTH (グロース) vol.18 ■本誌に関するご意見・ご要望をお待ちしております。

発行日/平成23(2011)年5月
 編集/東北学院大学後援会事務局(総務部総務課内)
 発行/東北学院大学後援会 〒980-8511 仙台市青葉区土橋1-3-1 tel 022-264-6411 fax 022-264-3030
 E-mail kouenkai@staff.tohoku-gakuin.ac.jp URL <http://www.tgu-kouenkai.org/>
 印刷/ハリウココミュニケーションズ株式会社

○GROWTH(グロース)の意味は、「成長する」です。聖書には、「どんな種より小さいのに、成長するとどの野菜よりも大きくなり、空の鳥が来て枝に巣を作るほどの木になる」(マタイによる福音書13章32節)、また、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です」(コリントの信徒への手紙一3章6節)と記されています。東北学院大学の学生の皆さんが各分野において、知識や技術、教養を十分に修め、神と人に祝されつつ大きく成長するようという期待が本誌に込められています。

【本誌における個人情報及び掲載記事の取り扱いについて】本誌に掲載されている個人情報は、本人の了解のもとで本誌に限り公開しているものです。よって、第三者がそれらの個人情報を別の目的で利用することは、本誌の無断転載はできません。
 【個人情報保護法への取り組みについて】平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されたのに伴い、東北学院大学後援会では個人情報の取り扱いについて、学校法人東北学院が制定した「学校法人東北学院個人情報保護規程」に基づき、個人情報の適正な管理と保護に努めています。後援会事務局では、東北学院大学後援会の運営に必要な皆様の個人情報をお預りしていますが、今後も個人情報保護法に基づき慎重に取り扱っており、皆様方のご理解・ご協力をお願いいたします。なお、後援会事務局で使用する個人情報の利用目的は次の通りです。
 ●「保護者のための大学ガイド」並びに「後援会通信「グロース」」の発行・送付 ●「後援会総会」並びに「地区後援会」の案内 ●その他、上記に関連する業務



GROWTHは、地産地消・輸送マイルーンに配慮したライスマインキを使用しています。